

組織に成功をもたらす
「成功の循環モデル」とは？



あなたの組織は
良い循環か悪い循環か。

組織を良いサイクルにする方法

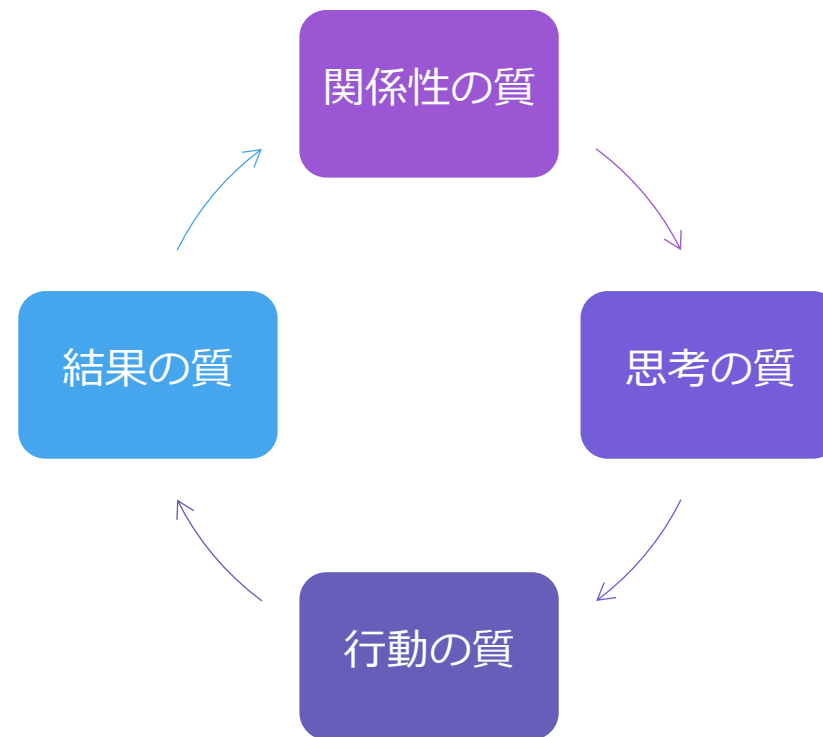
サポスク

成功の循環モデル

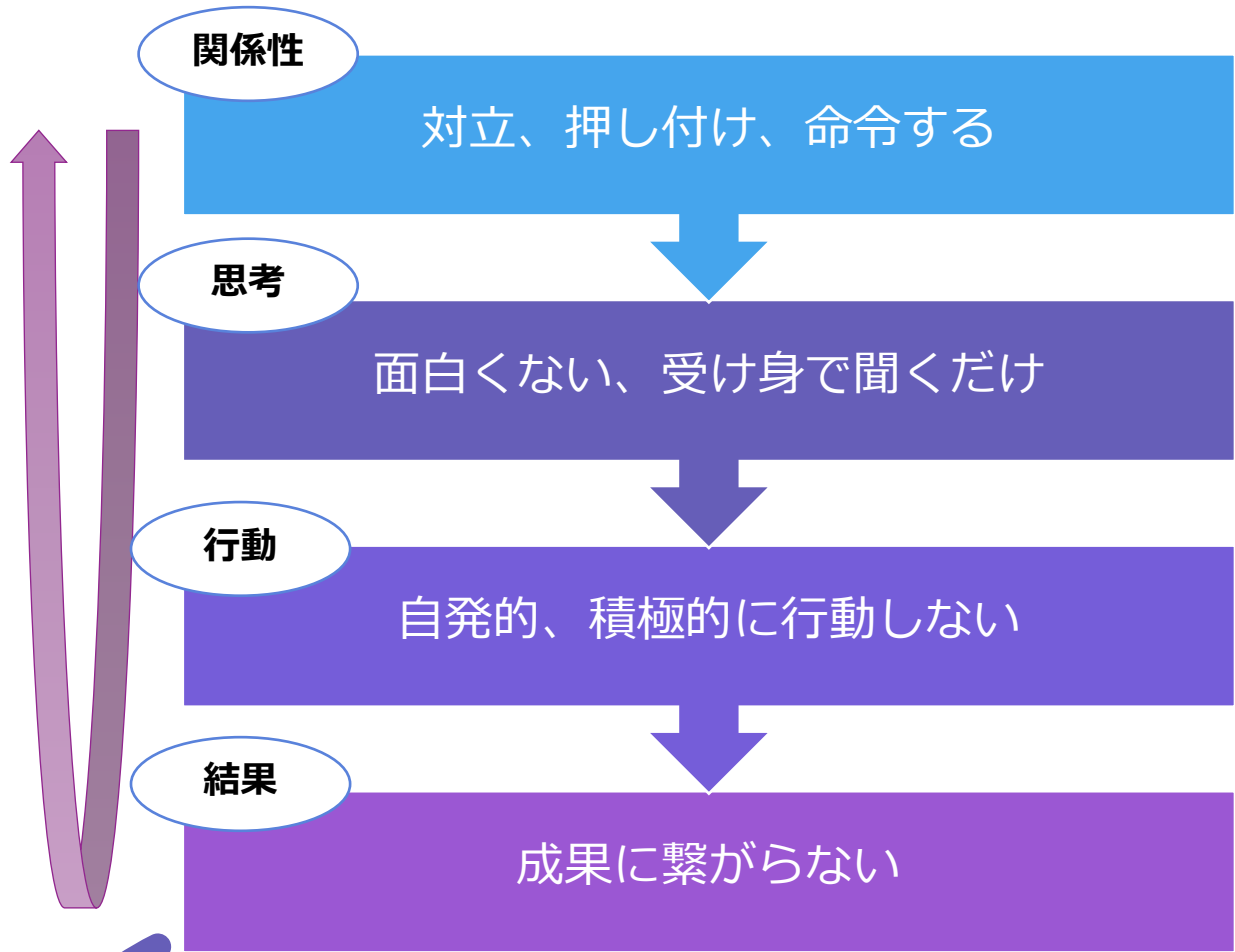
サポスク
株式会社コーチビジネス研究所

成功の循環モデル

マサチューセッツ工科大学のダニエル・キム教授は、組織に成功をもたらす「成功の循環モデル」を提唱しています。組織の循環モデルには、グッドサイクルとバッドサイクルがあると言います。



バッドサイクル (Bad Cycle)

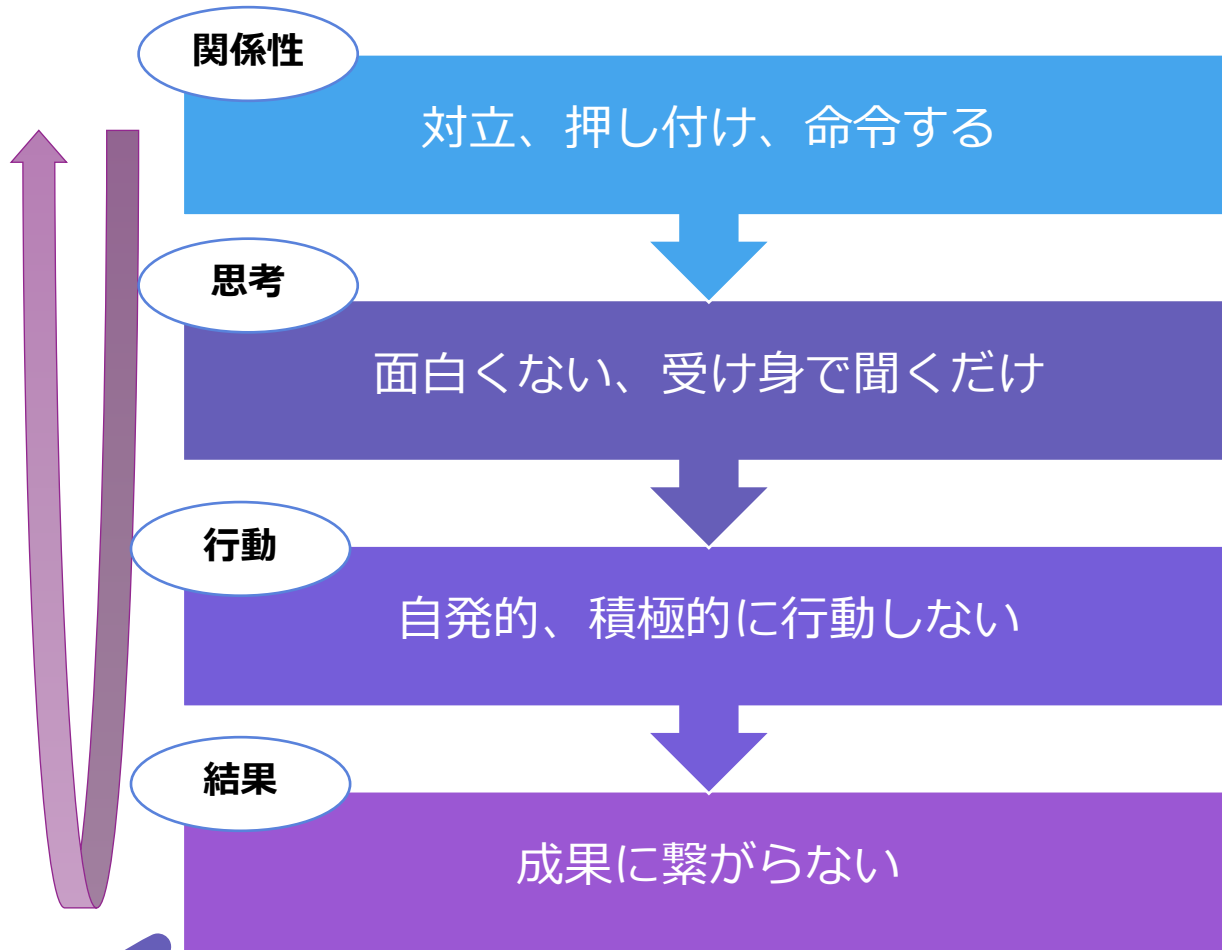


多くの組織では、結果（業績）だけを求め、「**結果の質**」を向上させようとするところから始めようとしてしまいがちです。

しかし、なかなか成果が上がらず「**結果の質**」が低下すると、対立や押し付け、命令が横行するようになり、「**関係の質**」が低下します。

ときには一時的に成果が上がることもありますが、それは**メンバーが追い詰められた状態**で出した**成果にすぎません**ので、持続せず、結局同じサイクルに入ってしまいます。

バッドサイクル (Bad Cycle)

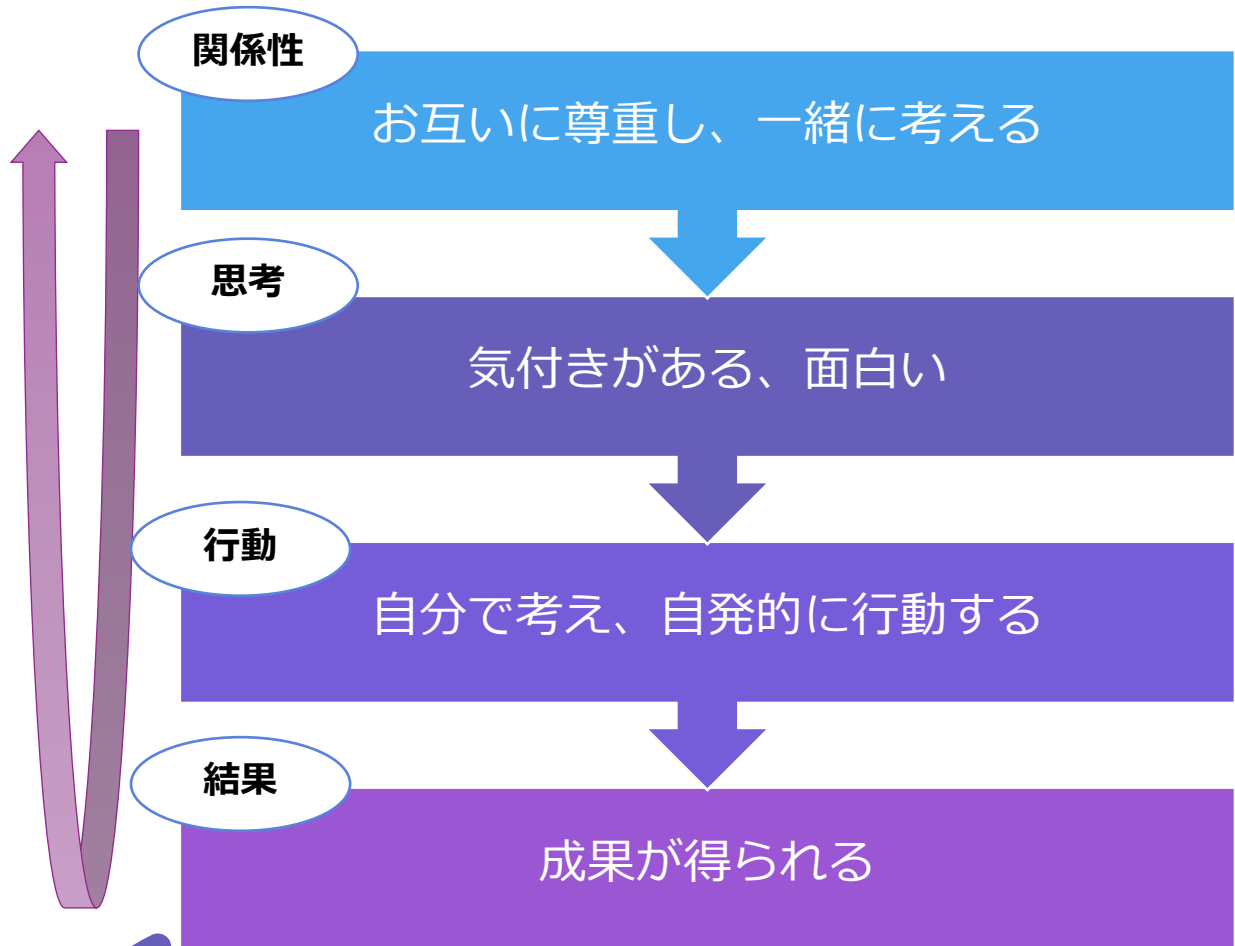


「**関係の質**」が悪化すると、メンバーは考えることをやめ、受け身になってしまい、仕事がつまらないと感じ、「**思考の質**」が低下します。

受け身なので、自発的・積極的に行動しなくなり、「**行動の質**」が低下して成果が上がらなくなります。

つまり「**結果の質**」がさらに低下することになります。停滞して成果が上がらない組織は、このようなバッドサイクルに陥っていることがよくあります。

グッドサイクル (Good Cycle)

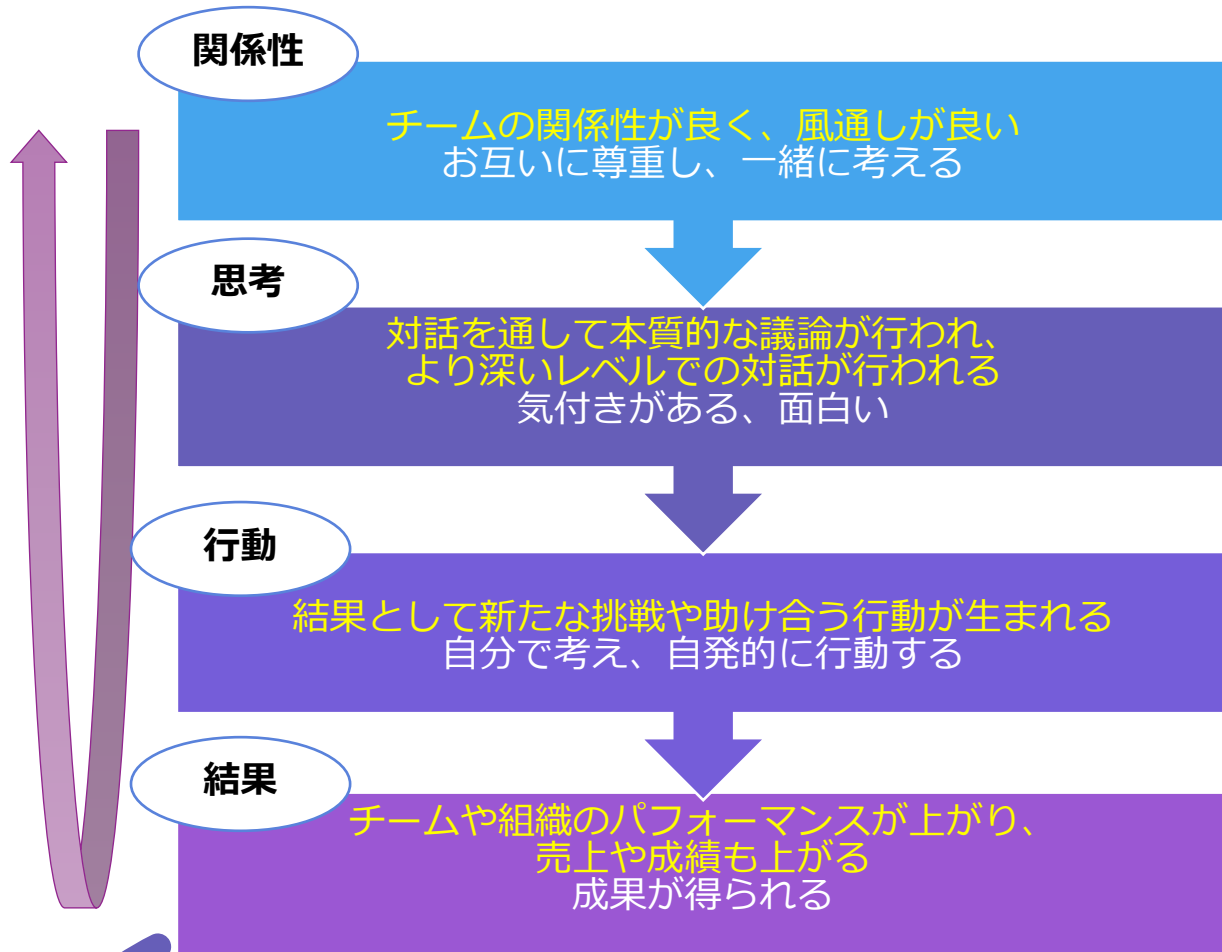


グッドサイクルは、「**関係の質**」を高めるところから始めます。

「**関係の質**」を高めるとは、相互理解を深め、お互いを尊重し、一緒に考えることです。

ここから始めると、メンバーは自分で気づき、面白いと感じるようになり、より建設的な議論が行われるようになり「**思考の質**」が向上します。

グッドサイクル (Good Cycle)



そして、面白いと感じるので、自分で考え、自発的に行動するようになり、「**行動の質**」が向上します。その結果として「**結果の質**」が向上し、成果が得られ、信頼関係が高まり、「**関係の質**」がさらに向上します。

「**関係の質**」の大切さを理解せずに、「**結果の質**」だけを求めていると、部下との信頼関係を築けず、どんなに努力しても組織として結果を出せないという状況になります。

**信頼関係が
高まる！**